

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、平成31年1月～3月期の業況実績と、平成31年4月及び令和元年5月～6月期の見通しについて、管内767先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
中小企業におけるインターネット利用と キャッシュレスへの対応について	19

(注) 平成31年1～3月を今期、平成30年10～12月を前期、平成31年4月及び令和元年5月～6月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	229	196	85.6	29.7
卸売業	36	30	83.3	4.5
小売業	226	193	85.4	29.2
サービス業	129	120	93.0	18.2
建設業	113	93	82.3	14.1
不動産業	34	28	82.4	4.3
合計	767	660	86.0	100.0

◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2019 年 1 月～3 月 》

年が明けてからも暖冬が続き、昨年の冬のような雪による交通マヒなどの影響はみられなかった。来年の東京オリンピック開催を控え、建築や交通インフラなどを中心として、各方面で慌ただしく準備が進んでいる。それに伴う人手が取られていることもあって、各業種では人手不足が深刻化している。とくに地方で問題となってきたおり、業種によっては必要なタイミングで需要に応えることが難しくなっている。

こうした中、当金庫営業地区の今期（平成31年1月～3月）業況D.I.は、△14.4（前期△7.2）と悪化を示した。

地区内全体では、卸売業を除き、全ての業種で業況D.I.の悪化を示したが、なかでもサービス業と建設業の落ち込みが響いた。ただし、昨年のような積雪の影響により観光人口が減少し、住民が普段の生活に支障が生じるほどであったときと比べると、そこまでの落ち込みでは無い。

地場産業では、例年この時期に落ち込みをみせる木材・建具・織布・観光業などで業況D.I.が悪化を示した。また伝統産業である漆器業は横這いであったが、依然マイナス圏内で推移しており、来期についても横這いと厳しい予想をしている。

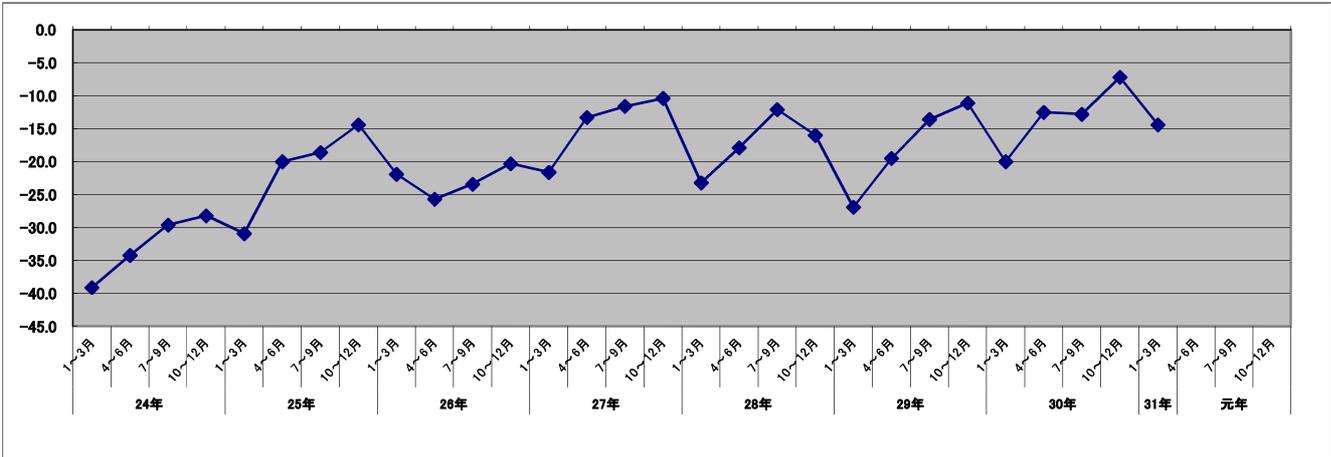
来期（平成31年4月及び令和元年5月～6月）の地区内における業況D.I.は、△7.3と改善を予想する。地区内全体では、全ての業種で改善を見込んでいるが、なかでも消費税増税による駆け込み需要と高額商品購入などを期待して、サービス・小売・建設業などが改善を予想している。ただ、地区内人口の減少にくわえて、全体的な人手不足が長期化しており、原材料費や仕入れ価格の高止まりなど不安材料も多い。

地場産業においては、電子部品・半導体製造業と漆器業で横這い、繊維・雑品業で悪化を見込み、そのほかでは改善を予想している。しかしながら内外に目を向けると、国内では働き方改革による所定外所得の減少が予想され、消費税増税後の反動による消費抑制を早くも心配する声が聞かれる。また海外においては、米中貿易摩擦による影響と中国の景気減速、英国のEU離脱問題など不安材料が多く、内外の動向には注意を向けていく必要がある。

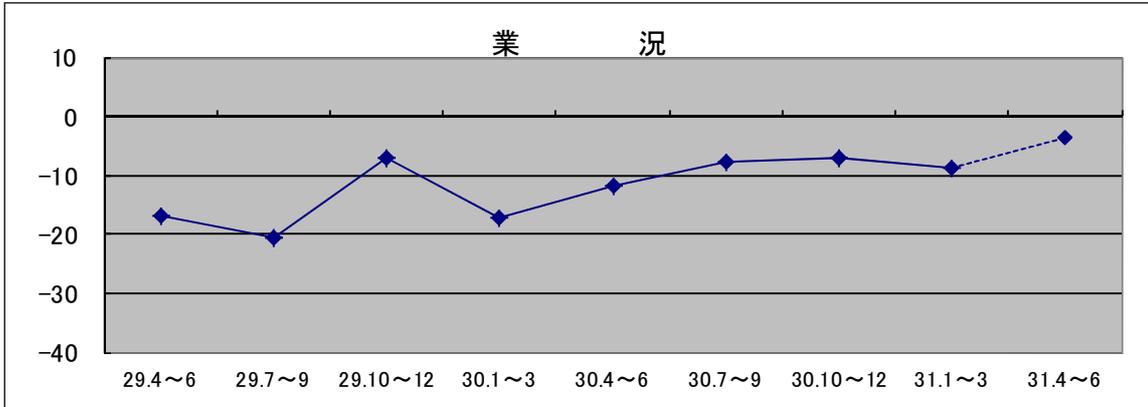
今後も業種を問わず、先行きの見えない人手不足が続くと予想されるが、政策による外国人労働者の受け入れも簡単に進むとは思われない。そのためにも適切な設備・技術・人材への投資が必要と考えられる。いまこそ1人1人の能力と生産性を高めることで、この状況を打破していくことが大事である。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H24年	1~3月	△ 39.1	H28年	1~3月	△ 23.2
	4~6月	△ 34.2		4~6月	△ 17.9
	7~9月	△ 29.6		7~9月	△ 12.1
	10~12月	△ 28.2		10~12月	△ 16.0
H25年	1~3月	△ 30.9	H29年	1~3月	△ 26.9
	4~6月	△ 20.0		4~6月	△ 19.5
	7~9月	△ 18.6		7~9月	△ 13.6
	10~12月	△ 14.4		10~12月	△ 11.1
H26年	1~3月	△ 21.9	H30年	1~3月	△ 20.0
	4~6月	△ 25.7		4~6月	△ 12.5
	7~9月	△ 23.4		7~9月	△ 12.8
	10~12月	△ 20.3		10~12月	△ 7.2
H27年	1~3月	△ 21.6	H31年	1~3月	△ 14.4
	4~6月	△ 13.3	R元年	4~6月	
	7~9月	△ 11.6		7~9月	
	10~12月	△ 10.4		10~12月	



製造業



【概況】

不安材料はあるが電子部品製造業が堅調に推移し、縫製業や漆器業、織布業、繊維・雑品業が悪化した。結果、今期（H31. 1～3月）の業況D.I.は、製造業全体で△8.7（前期△7.0）と、全体的には僅かに悪化を示した。

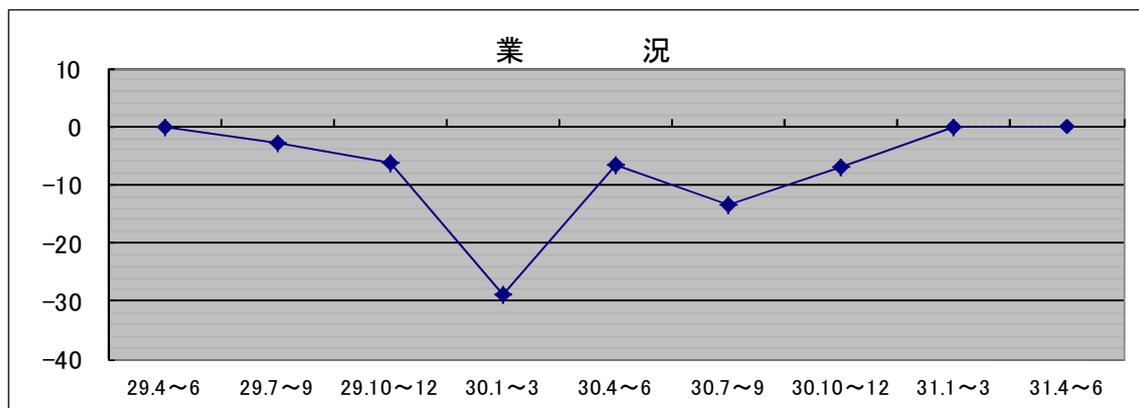
来期（H31. 4月・R元. 5～6月）の業況D.I.は△3.6と改善を予想する比較的明るい見通しであるも、人手不足は深刻化しており、中国経済の減速による受注減少など問題は多いことから慎重な見方が強い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業況	△16.9	△20.5	△7.0	△17.2	△11.8	△7.7	△7.0	△8.7	△3.6
売上	△6.5	△17.6	2.0	△17.2	△3.4	△1.0	△6.0	△12.8	3.1
収益	△9.5	△19.0	△6.5	△18.2	△9.4	△6.6	△8.5	△12.2	△0.5
資金繰り	△10.0	△16.1	△10.4	△9.1	△9.9	△6.6	△4.5	△2.6	△3.6
人手	△11.4	△8.3	△14.9	△14.1	△8.9	△10.7	△11.6	△11.8	△12.3
設備	△6.5	△5.4	△6.0	△7.6	△9.9	△4.6	△3.5	△4.1	△5.6

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	15.5 %	提携先を見つける	28.2 %
輸入製品との競争の激化	13.4 %	経費を節減する	20.1 %
原材料高	10.5 %	販路を広げる	16.9 %

卸売業



【概況】

建築資材や一部を除く食品関係を中心にやや低調となったが、食肉、再生資源などで堅調に推移した。

卸売業全体の今期（H31.1～3月）業況D.I.は $\Delta 0.0$ （前期 $\Delta 7.1$ ）と2期連続して改善を示した。

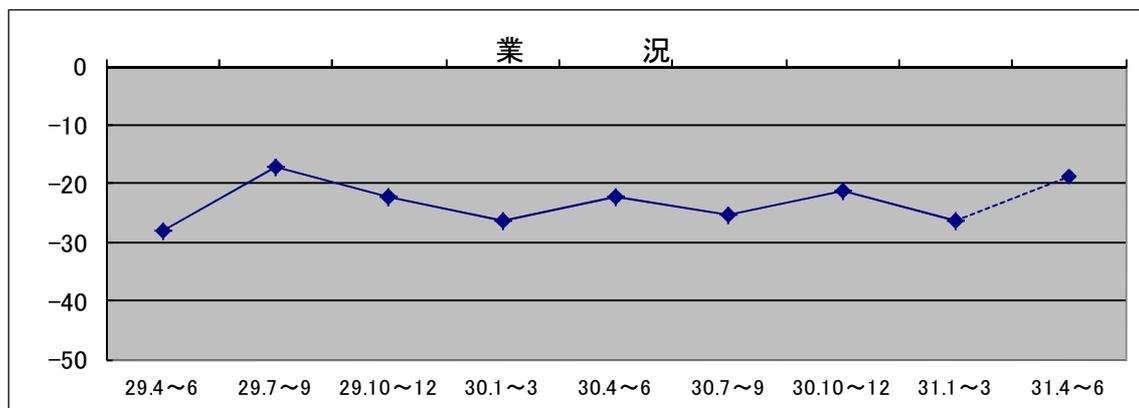
来期（H31.4月・R元.5～6月）の卸売業全体の見通しは、消費税増税前の需要から 0.0 と横這いを維持すると予想され、引き続き堅調に推移する見通しとなっている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	0.0	$\Delta 3.0$	$\Delta 6.2$	$\Delta 29.0$	$\Delta 6.5$	$\Delta 13.3$	$\Delta 7.1$	0.0	0.0
売上	5.7	$\Delta 3.0$	$\Delta 12.5$	$\Delta 25.8$	0.0	0.0	$\Delta 3.6$	$\Delta 3.3$	16.7
収益	0.0	$\Delta 3.0$	$\Delta 9.4$	$\Delta 29.0$	$\Delta 3.2$	$\Delta 3.3$	$\Delta 10.7$	$\Delta 10.0$	10.0
資金繰り	$\Delta 11.4$	6.1	$\Delta 3.1$	$\Delta 19.4$	$\Delta 9.7$	$\Delta 6.7$	0.0	$\Delta 6.7$	$\Delta 6.7$
仕入価格	5.7	9.1	9.4	16.1	12.9	10.0	0.0	6.7	16.7
在庫	$\Delta 5.7$	0.0	3.1	0.0	3.2	3.3	$\Delta 7.1$	0.0	$\Delta 3.3$

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.9 %	提携先を見つける	30.5 %
同業者間の競争の激化	15.7 %	販路を広げる	20.7 %
合理化の不足	14.5 %	経費を節減する	19.5 %

小売業



【概況】

暖冬の影響と仕入れ価格の上昇から衣料・食品小売が低調となり、燃料・家電販売などが堅調に推移した。結果として、今期（H31.1～3月）の業況D.I.は△26.4（前期△21.2）と小幅に悪化を示した。

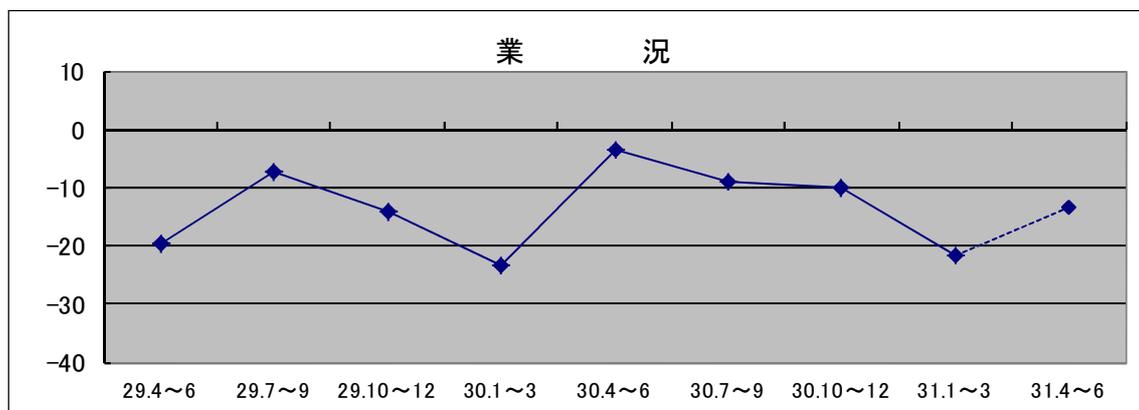
来期（H31.4月・R元.5～6月）業況D.I.については△18.8と改善を予想する。消費税増税前の家電販売や高額商品の売上増加により、収益増加、資金繰り改善につながると見込んでいる。その反面、税率の変更や軽減税率導入に対する不安や負担に関する声が多く聞かれる。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△28.2	△17.2	△22.3	△26.4	△22.2	△25.5	△21.2	△26.4	△18.8
売上	△16.8	△3.3	△13.6	△29.5	△3.8	△9.5	△11.1	△16.1	△7.3
収益	△17.3	△7.7	△15.0	△31.6	△5.3	△12.0	△11.1	△16.6	△10.9
資金繰り	△14.9	△14.4	△17.5	△19.2	△13.9	△17.5	△20.2	△16.6	△13.0
販売価格	△2.5	3.8	7.3	1.0	10.1	8.0	△2.0	△1.6	△1.0
在庫	△2.0	1.9	5.3	△1.6	1.9	1.5	3.0	5.2	1.6

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
地価の高騰	17.2 %	仕入先を開拓・選別する	29.5 %
売上の停滞・減少	15.2 %	経費を節減する	20.6 %
人手不足	3.5 %	品揃えを改善する	11.4 %

サービス業



【概 況】

旅客運送業が低調となったほか、同業でも旅館・民宿業や自動車修販業などにおいては明暗が分かれた結果となった。サービス業全体では今期（H31.1～3月）業況D.I.は△21.7（前期△9.9）と大幅に悪化を示した。

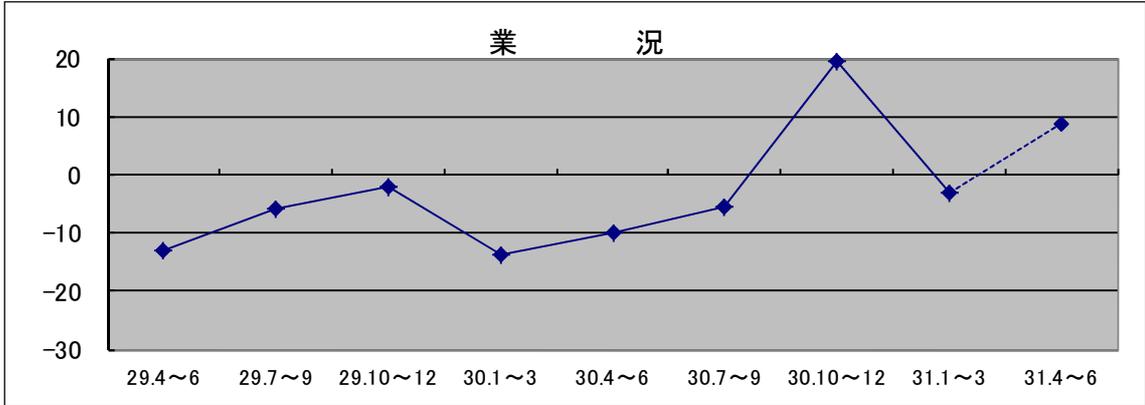
来期（H31.4月・R元.5～6月）のサービス業全体でのD.I.見通しは、△13.4と改善を予想する。春の観光シーズン到来による旅客を見込んだ業種で売上、収益とも改善を予想しているが、業種全体における慢性的な人手不足が続いている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年				平成31年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△19.5	△7.3	△14.2	△23.5	△3.4	△9.0	△9.9	△21.7	△13.4
売上	△14.4	2.4	△14.2	△26.1	5.9	△6.6	△17.4	△20.8	△8.4
収益	△17.8	△4.0	△19.2	△29.4	3.4	△12.3	△12.4	△19.3	△7.6
資金繰り	△20.3	△16.1	△15.8	△20.2	△7.6	△5.7	△5.8	△13.3	△13.4
料金価格	△5.9	1.6	△3.3	△5.0	2.5	0.0	△1.7	0.0	△0.8
設備	△9.3	△8.1	△12.5	△6.7	△4.2	△4.9	△5.8	△8.3	△9.2

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	14.5 %	提携先を見つける	29.2 %
売上の停滞・減少	14.2 %	経費を節減する	18.8 %
代金回収の悪化	13.4 %	販路を広げる	12.2 %

建設業



【概況】

暖冬で雪の影響が少なかったものの、時節柄公共工事を除き全体的な工事量が少なく、除雪作業も少なかった。結果、今期（H31.1~3月）業況D.I.は△3.2（前期19.4）と大幅に悪化を示した。

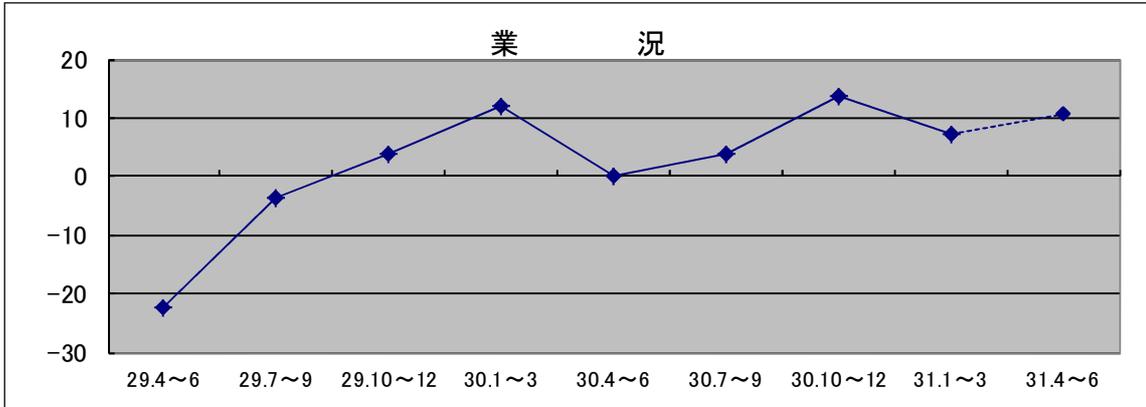
来期（H31.4月・R元.5~6月）の業況D.I.は8.7と、改善に転じると予想する。建築シーズン到来にくわえ、消費税増税を見込んだ3月中の住宅契約のほか、今後の駆け込み需要に対する期待は大きく、売上を中心として改善を見込んでいる。ただ、材料価格の高止まり、人手不足の慢性化など問題も多い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△13.0	△5.8	2.0	△13.8	△10.1	△5.4	19.4	△3.2	8.7
売上	△3.0	△2.9	△5.1	△20.2	11.2	0.0	18.3	△10.8	19.4
収益	△8.0	△7.8	△7.1	△21.3	△1.1	△3.3	11.8	△9.7	10.8
資金繰り	△10.0	△10.7	△8.2	△4.3	△1.1	△4.3	3.2	0.0	△2.2
請負価格	△5.0	1.0	△7.1	1.1	4.5	△2.2	2.2	6.5	△1.1
人手	△11.0	△7.8	△14.3	△20.2	△10.1	△13.0	△20.4	△11.8	△15.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費以外の経費の増加	15.6 %	技術力を高める	29.4 %
同業者間の競争の激化	16.9 %	情報力を強化する	12.6 %
売上の停滞・減少	12.1 %	販路を広げる	11.2 %

不動産業



【概況】

消費税増税前の駆け込み需要を睨み各企業の動きが活発化している中、物件の高騰や不足が続いている。結果、今期（H31.1～3月）の業況D.I.は7.1（前期13.8）と、プラスながらも僅かに悪化した。

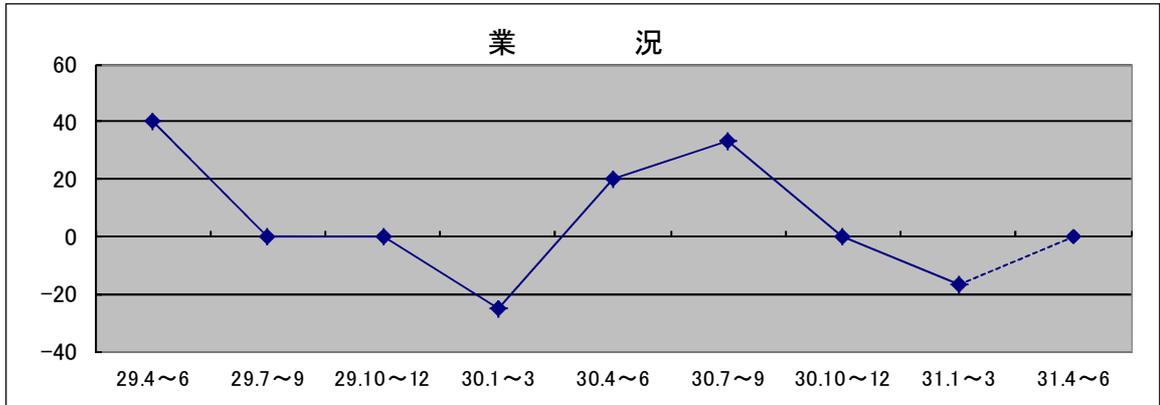
来期（H31.4月・R元.5～6月）の業況D.I.は10.7と改善を予想する。今後も物件の確保難や在庫不足は続くと思われる、同業者間での競争が激化していくとの見方が多い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△22.2	△3.6	3.8	12.0	0.0	3.8	13.8	7.1	10.7
売上	3.7	17.9	11.5	4.0	15.4	0.0	13.8	7.1	10.7
収益	3.7	17.9	7.7	0.0	11.5	3.8	10.3	3.6	7.1
資金繰り	△11.1	△7.1	△7.7	△8.0	△11.5	△3.8	△6.9	△14.3	△7.1
販売価格	△3.7	7.1	11.5	△4.0	7.7	7.7	10.3	3.6	10.7
在庫	△18.5	△7.1	7.7	△4.0	△3.8	△3.8	△6.9	△18.5	△7.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	41.2 %	提携先を見つける	24.4 %
大手企業との競争の激化	29.4 %	販路を広げる	20.5 %
売上の停滞・減少	23.5 %	宣伝・広告を強化する	19.2 %

能登地区の縫製業



【概 況】

今期（H31. 1～3月）の業況D.I.は△16.7（前期0.0）と悪化を示した。

来期（H31. 4月及びR元. 5～6月）は業況D.I.を0.0と改善を予想している。売上、収益ともに大幅に増加すると予想しているが、引き続き課題となっている人手不足に加え、原材料価格の値上げが顕在化している。

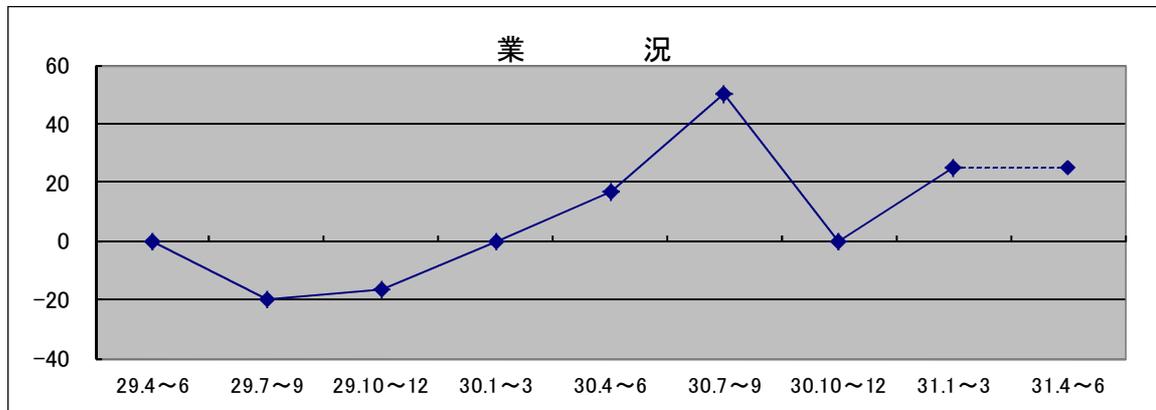
経営上の問題点としては、輸入製品との競争の激化と人件費の増加をあげる企業が多くみられた。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	40.0	0.0	0.0	△25.0	20.0	33.3	0.0	△16.7	0.0
売上	0.0	△40.0	△33.3	△25.0	0.0	33.3	0.0	0.0	50.0
収益	△20.0	△20.0	△33.3	△25.0	0.0	0.0	20.0	0.0	33.3
資金繰り	0.0	△20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人手	△40.0	△40.0	△66.7	△50.0	△20.0	△66.7	△40.0	△33.3	△33.3
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	22.7 %	経費を節減する	20.0 %
人件費の増加	18.2 %	販路を広げる	13.3 %
売上の停滞・減少	13.6 %	提携先を見つける	13.3 %

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概 況】

スマホ向け部品の受注減少があったものの、自動車向け製品が好調であったことなどから、今期（H31. 1～3月）業況D.I.については 25.0（前期0.0）と改善を示した、

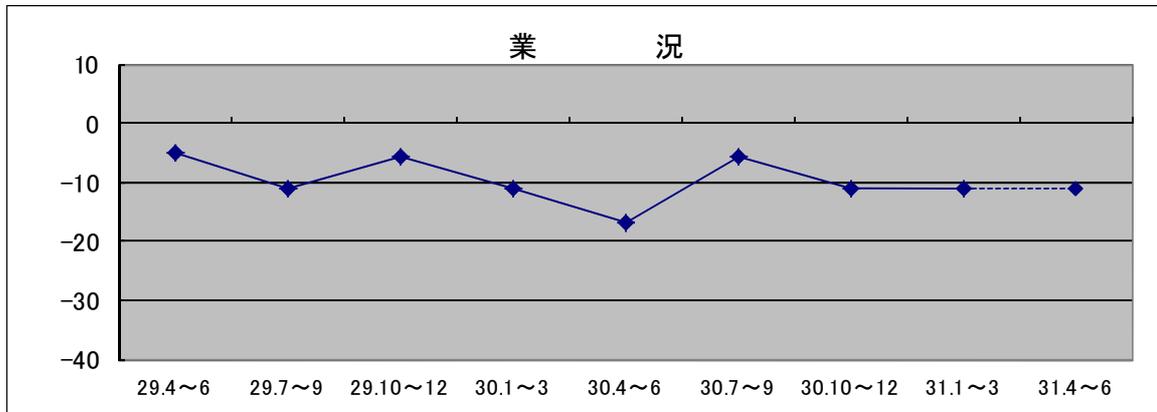
来期（H31. 4月・R元. 5～6月）の業況D.I.は25.0. と横這いを予想しており、受注増加から売上も増加を見込んでいる。しかしながら、米中貿易摩擦による中国経済の一層の減速も予想され、今後の経済動向に目が離せない状況となっている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	0.0	△20.0	△16.7	0.0	16.7	50.0	0.0	25.0	25.0
売 上	28.6	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	25.0
収 益	0.0	△40.0	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0
資金繰り	14.3	20.0	0.0	20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
人 手	14.3	0.0	△16.7	20.0	△16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	△20.0	△16.7	△20.0	△33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	22.2 %	提携先を見つける	33.3 %
売上の停滞・減少	11.1 %	販路を広げる	22.2 %
人手不足	11.1 %	経費を節減する	11.1 %

能登地区の漆器業



【概 況】

例年入込人口の減少がみられる時期であるが、暖冬から比較的落ち込みが少なかった。結果、低下を予想していた業況D.I.は、今期（H31.1～3月）△11.1（前期△11.1）と横這いで推移した。

来期（H31.4月・R元.5～6月）は観光シーズン到来となり入込人口の増加が予想されているが、引き続き大きな売り上げ増加は望めないと見ており、業況D.I.を△11.1と横這いで推移を予想している。

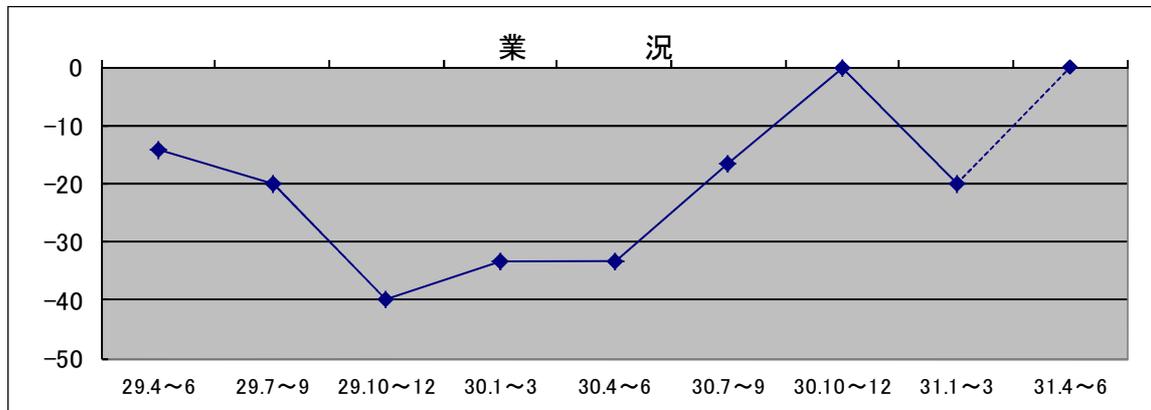
経営上の問題点としては、人件費の増加と原材料高をあげる企業が多かった。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△5.0	△11.1	△5.6	△11.1	△16.7	△5.6	△11.1	△11.1	△11.1
売上	5.0	11.1	16.7	5.6	△11.1	11.1	△11.1	△5.6	△5.6
収益	10.0	11.1	5.6	△5.6	△11.1	11.1	△11.1	0.0	0.0
資金繰り	△5.0	△5.6	△5.6	0.0	△11.1	△5.6	0.0	0.0	0.0
人手	△10.0	△11.1	△11.1	△11.1	0.0	△11.1	0.0	△5.6	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費の増加	27.7 %	提携先を見つける	30.2 %
原材料高	23.4 %	経費を節減する	26.4 %
利幅の縮小	21.3 %	情報力を強化する	15.1 %

能登地区の木材業



【概 況】

外材入荷が昨年より少ない中、暖冬で雪が少なかったこともあって地元産材が多く入荷となった。しかしながら前年比でみて単価が低下したことから、売り上げと収益に厳しい状況であった。

結果、今期（H31. 1～3月）の業況D.I.は△20.0（前期0.0）と悪化を示した。

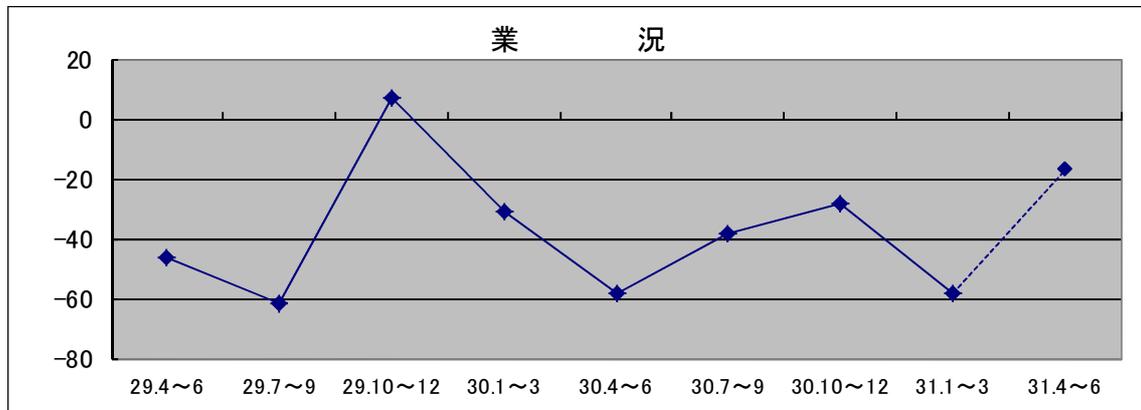
来期（H31. 4月・R元. 5～6月）については、業況D.I.は0.0と改善を予想する。県産材使用に対する助成制度に期待をしているが、足元では消費税増税の影響がどう出てくるのかに注目している。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業況	△14.3	△20.0	△40.0	△33.3	△33.3	△16.7	0.0	△20.0	0.0
売上	△28.6	△20.0	△40.0	△16.7	△50.0	△33.3	0.0	△33.3	33.3
収益	△14.3	△20.0	△40.0	△33.3	△50.0	△33.3	0.0	△33.3	33.3
資金繰り	△14.3	△20.0	△40.0	△16.7	△16.7	△16.7	0.0	16.7	16.7
人手	△42.9	0.0	0.0	△16.7	△16.7	△33.3	△20.0	△16.7	△16.7
設備	0.0	△20.0	△20.0	△16.7	△16.7	△16.7	△20.0	△16.7	△16.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費の増加	18.8 %	提携先を見つける	40.0 %
売上の停滞・減少	12.5 %	販路を広げる	20.0 %
利幅の縮小	12.5 %	経費を節減する	20.0 %

能登地区の建具業



【概 況】

今期（H31. 1～3月）業況D.I.は△58.3（前期△28.6）と大幅な悪化を示した。

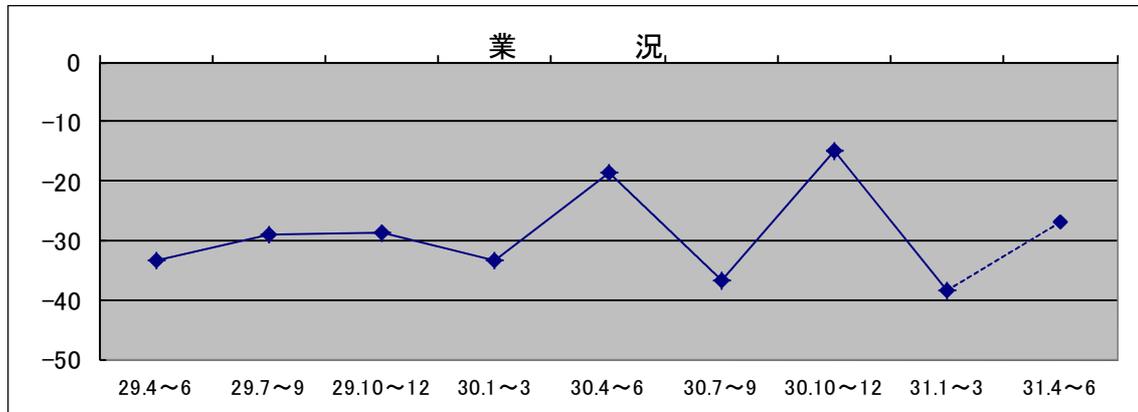
来期（H31. 4月・R元. 5～6月）の業況D.I.は建築シーズンを迎えることから△16.7と41.6ポイントの改善を予想しており、売上、収益も増加すると予想するも、提携先の確保や販路の拡大など課題も多い。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業 況	△46.2	△61.5	7.1	△30.8	△58.3	△38.5	△28.6	△58.3	△16.7
売 上	△23.1	△38.5	0.0	△38.5	△25.0	△30.8	△42.9	△66.7	△16.7
収 益	△38.5	△61.5	△21.4	△46.2	△16.7	△38.5	△42.9	△66.7	△16.7
資金繰り	△38.5	△53.8	△21.4	△15.4	△16.7	△15.4	△7.1	0.0	0.0
人 手	7.7	0.0	△14.3	△15.4	△16.7	△15.4	△7.1	0.0	0.0
設 備	△7.7	57.7	△7.1	△15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	29.3 %	提携先を見つける	47.5 %
同業者間の競争の激化	14.6 %	経費を節減する	25.0 %
輸入製品との競争の激化	14.6 %	販路を広げる	22.5 %

能登地区の織布業



【概況】

当地区における織布業の今期（H31. 1～3月）業況D.I.については△38.5（前期△14.8）と悪化を示した。

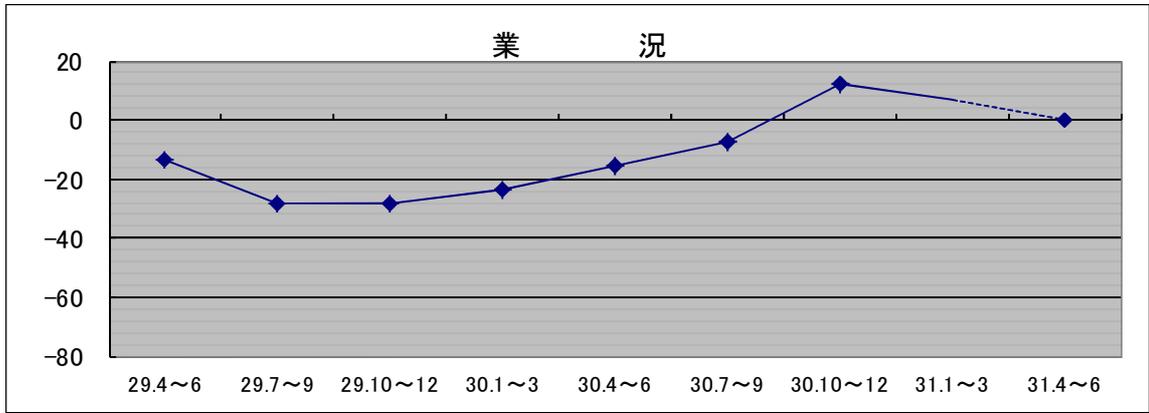
来期（H31. 4月・R元. 5～6月）のD.I.については△26.9と改善に転じると予想しているが、中国経済の減速や米中貿易摩擦など海外経済の先行きに不透明感が拭えず、今後の動向を注意深くみていく必要がある。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年				平成31年	見通し
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
業況	△33.3	△29.0	△28.6	△33.3	△18.5	△36.7	△14.8	△38.5	△26.9
売上	△22.2	△29.0	△25.0	△33.3	△11.1	△30.0	0.0	△38.5	△26.9
収益	△18.5	△22.6	△25.0	△29.2	△11.1	△30.0	△3.7	△38.5	△26.9
資金繰り	△3.7	△12.9	△14.3	△4.2	△3.7	△13.3	△11.1	△19.2	△11.5
人手	△18.5	△6.5	△10.7	△12.5	△3.7	△10.0	△11.1	△3.8	△3.8
設備	△7.4	△3.2	△3.6	0.0	0.0	△3.3	△3.7	3.8	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	21.4 %	提携先を見つける	32.1 %
輸入製品との競争の激化	21.4 %	経費を節減する	23.2 %
利幅の縮小	8.6 %	特になし	16.1 %

能登地区の繊維・雑品業



【概 況】

今期（H31. 1～3月）業況D.I.は、暖冬による消費動向の影響や原材料価格の上昇を受けたこともあり、4四半期続いた改善から6.7（前期12.5）と悪化した。

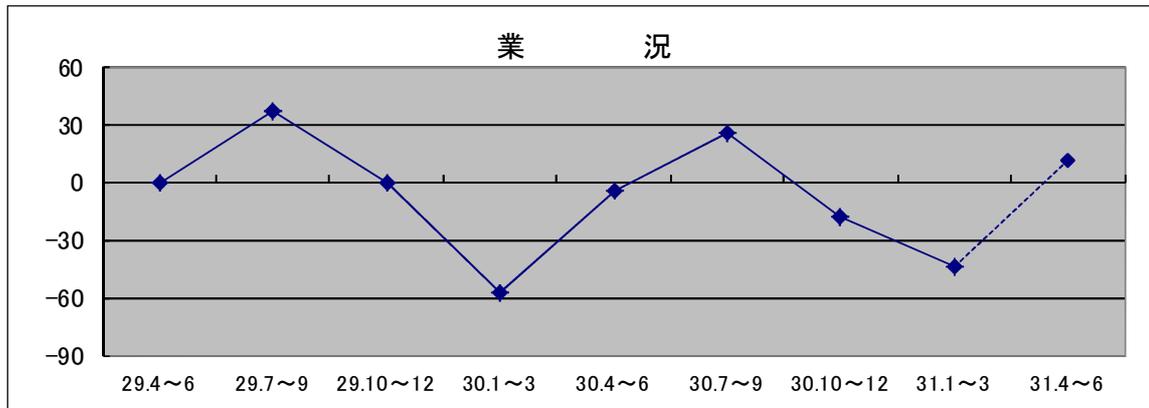
来期（H31. 4月・R元. 5～6月）の業況D.I.は0.0と悪化を予想している。販売価格が据え置かれたまま原材料高で推移することが予想され、海外経済の不透明感もあって、改善への期待感が薄い。

	平成29年			平成30年			平成31年	見通し	
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業況	△13.3	△28.6	△28.6	△23.5	△15.4	△7.7	12.5	6.7	0.0
売上	△13.3	△21.4	△21.4	△17.6	15.4	△7.7	25.0	0.0	0.0
収益	△13.3	△28.6	△21.4	△17.6	15.4	△7.7	6.2	△6.7	0.0
資金繰り	△6.7	△21.4	△21.4	△29.4	△7.7	△15.4	△12.5	△6.7	△6.7
人手	0.0	7.1	△28.6	△23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

《業績判断D.I.の推移》

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
原材料高	29.4 %	販路を広げる	23.7 %
売上の停滞・減少	17.6 %	新製品・技術を開発する	23.7 %
輸入製品との競争の激化	11.8 %	経費を節減する	21.1 %

能登地区の観光業



【概 況】

結果、今期（H31. 1～3月）の業況D.I.は△44.4（前期△17.6）と、昨年同期D.I.までには至らないが、大きく悪化を示した。

来期（H31. 4月・R元. 5～6月）業況D.I.は11.1と本格的な春の観光シーズン到来により改善を見込んでおり、売上げ、収益ともに大幅な改善を予想している。ただ、設備投資や資金繰りの改善までには繋がらないとの見方は多く、インバウンド観光の取り込みや、年間を通じて今以上の魅力ある観光イベント・プラン提供が課題と見込まれている。

《業績判断D.I.の推移》

	平成29年			平成30年				平成31年	見通し
	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月
業 況	0.0	36.4	0.0	△57.9	△4.5	25.0	△17.6	△44.4	11.1
売 上	5.0	68.2	10.0	△47.4	36.4	45.0	△52.9	△38.9	38.9
収 益	0.0	54.5	△10.0	△47.4	31.8	40.0	△47.1	△29.4	47.1
資金繰り	△20.0	△4.5	△5.0	△42.1	△4.5	△10.0	△5.9	△16.7	△16.7
料金価格	0.0	△9.1	5.0	△5.3	4.5	0.0	5.9	0.0	5.6
設 備	△10.0	△9.1	△20.0	△10.5	0.0	△5.0	△5.9	△11.1	△11.1

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	22.0 %	宣伝・広告を強化する	20.9 %
売上の停滞・減少	13.6 %	提携先を見つける	18.6 %
商圏人口の減少	11.9 %	経費を節減する	14.0 %

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
29年 4月	1.86	156.3	12.2
29年 5月	1.90	146.8	11.6
29年 6月	1.92	157.9	11.7
29年 7月	1.88	154.1	11.7
29年 8月	1.86	147.5	11.2
29年 9月	1.84	154.0	11.9
29年 10月	1.84	152.2	11.9
29年 11月	1.85	153.6	11.9
29年 12月	1.80	153.1	12.1
30年 1月	1.97	137.1	10.0
30年 2月	2.02	143.9	10.1
30年 3月	1.97	148.1	11.0
30年 4月	1.98	153.4	11.4
30年 5月	1.96	143.5	10.0
30年 6月	1.99	154.9	10.8
30年 7月	1.98	150.8	10.1
30年 8月	1.97	144.6	9.3
30年 9月	2.00	147.7	10.3
30年 10月	2.02	149.7	10.5
30年 11月	2.06	154.6	11.3
30年 12月	2.07	147.6	10.4
31年 1月	1.99	133.4	9.5

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
29年 4月	100.6	0.9
29年 5月	101.0	1.3
29年 6月	100.8	1.1
29年 7月	100.5	0.9
29年 8月	100.8	1.2
29年 9月	100.9	1.2
29年 10月	101.0	0.8
29年 11月	101.5	1.2
29年 12月	101.8	1.7
30年 1月	102.0	2.1
30年 2月	102.0	2.0
30年 3月	101.9	1.9
30年 4月	101.8	1.2
30年 5月	102.1	1.1
30年 6月	101.9	1.1
30年 7月	102.0	1.5
30年 8月	102.7	1.9
30年 9月	102.5	1.6
30年 10月	102.9	1.9
30年 11月	102.5	1.0
30年 12月	102.2	0.4
31年 1月	102.0	0.0
31年 2月	101.9	-0.1

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
29年 4月	191	1,438	21,633	157,545
29年 5月	230	1,703	21,337	154,062
29年 6月	350	2,465	21,076	150,616
29年 7月	244	1,866	20,775	147,022
29年 8月	247	2,231	20,421	143,695
29年 9月	311	2,694	20,018	140,909
29年 10月	181	1,502	19,727	138,194
29年 11月	176	1,630	19,353	135,146
29年 12月	200	1,577	18,969	132,033
30年 1月	126	1,521	18,706	129,159
30年 2月	162	1,288	18,345	126,816
30年 3月	214	2,081	17,811	124,582
30年 4月	199	1,734	17,497	122,421
30年 5月	264	2,021	17,252	120,483
30年 6月	328	2,606	16,975	118,645
30年 7月	276	2,550	16,687	117,047
30年 8月	269	2,279	16,469	115,686
30年 9月	254	1,806	16,183	114,207
30年 10月	281	2,691	15,972	112,457
30年 11月	235	2,204	15,818	111,698
30年 12月	282	2,345	15,640	110,858
31年 1月	184	2,429	15,480	109,852
31年 2月	254	2,061	15,311	109,014

資料: 石川県信用保証協会「保証月報」

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
29年 3月	12	1,414
29年 4月	6	271
29年 5月	6	1,063
29年 6月	4	204
29年 7月	8	179
29年 8月	4	1,862
29年 9月	8	1,296
29年 10月	7	363
29年 11月	4	287
29年 12月	3	64
30年 1月	5	137
30年 2月	8	1,724
30年 3月	8	851
30年 4月	2	20
30年 5月	5	497
30年 6月	10	419
30年 7月	9	964
30年 8月	6	534
30年 9月	4	296
30年 10月	7	281
30年 11月	6	2,561
30年 12月	2	36
31年 1月	9	571
31年 2月	5	1,931

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
29年 3月	87	16,538	613	56
29年 4月	100	18,079	591	62
29年 5月	109	20,698	738	70
29年 6月	119	22,664	698	68
29年 7月	100	18,552	650	64
29年 8月	87	16,788	687	65
29年 9月	117	22,877	776	68
29年 10月	115	22,358	787	71
29年 11月	97	19,637	765	70
29年 12月	82	14,987	538	51
30年 1月	77	15,477	480	44
30年 2月	117	33,595	520	52
30年 3月	86	16,297	578	59
30年 4月	131	24,775	665	66
30年 5月	130	27,119	623	61
30年 6月	119	24,423	742	70
30年 7月	84	15,406	642	62
30年 8月	93	18,067	645	59
30年 9月	103	19,681	725	66
30年 10月	143	25,960	723	66
30年 11月	128	22,801	660	69
30年 12月	89	15,101	606	54
31年 1月	78	16,724	490	47

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
29年 3月	261	13,715
29年 4月	180	29,500
29年 5月	305	27,848
29年 6月	460	11,685
29年 7月	532	13,767
29年 8月	467	9,415
29年 9月	791	28,897
29年 10月	563	12,909
29年 11月	484	9,990
29年 12月	377	6,783
30年 1月	242	4,295
30年 2月	222	7,073
30年 3月	195	8,793
30年 4月	477	60,033
30年 5月	310	17,948
30年 6月	506	14,439
30年 7月	565	12,481
30年 8月	513	10,562
30年 9月	536	14,840
30年10月	545	13,762
30年11月	466	7,732
30年12月	370	6,427
31年 1月	113	10,977
31年 2月	513	7,774

資料:東日本建設業保証(株)(石川県内)

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
29年 3月	6,245	2,973
29年 4月	2,538	1,367
29年 5月	2,594	1,350
29年 6月	3,534	1,129
29年 7月	3,134	1,553
29年 8月	2,489	1,194
29年 9月	3,264	1,764
29年 10月	2,444	1,361
29年 11月	2,423	1,512
29年 12月	2,582	1,384
30年 1月	2,395	1,524
30年 2月	3,223	1,759
30年 3月	6,047	3,069
30年 4月	2,545	1,539
30年 5月	2,702	1,464
30年 6月	3,225	1,791
30年 7月	3,442	1,765
30年 8月	2,522	1,324
30年 9月	3,401	1,914
30年 10月	3,182	1,598
30年 11月	3,285	1,884
30年 12月	2,573	1,361
31年 1月	2,400	1,506
31年 2月	3,547	1,906

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
29年 4月	55,438	10,800
29年 5月	66,457	16,200
29年 6月	63,971	11,500
29年 7月	62,248	14,000
29年 8月	93,928	20,800
29年 9月	65,231	15,500
29年 10月	78,696	16,700
29年 11月	84,816	16,300
29年 12月	69,313	6,900
30年 1月	58,721	7,000
30年 2月	56,352	7,600
30年 3月	77,271	8,700
30年 4月	60,206	11,800
30年 5月	67,787	16,300
30年 6月	63,858	12,900
30年 7月	63,816	15,500
30年 8月	98,503	23,300
30年 9月	69,984	14,300
30年 10月	79,254	17,800
30年 11月	84,619	17,300
30年 12月	74,360	10,800
31年 1月	54,447	9,200
31年 2月	60,461	9,700

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

◆ 織物生産高

(千㎡)

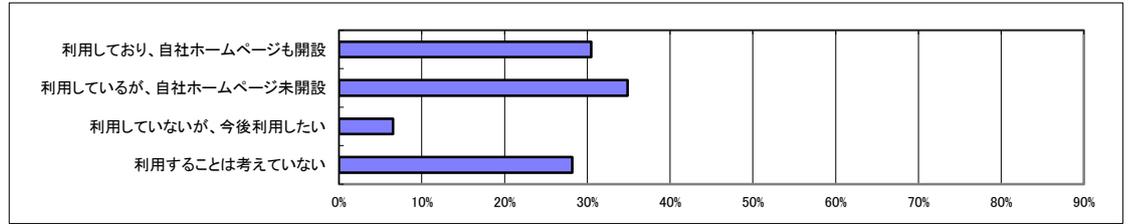
	合計
29年 4月	22,407
29年 5月	22,118
29年 6月	23,820
29年 7月	22,811
29年 8月	21,081
29年 9月	23,521
29年 10月	23,154
29年 11月	23,598
29年 12月	21,884
30年 1月	20,715
30年 2月	20,716
30年 3月	23,332
30年 4月	21,367
30年 5月	21,041
30年 6月	22,518
30年 7月	22,899
30年 8月	20,669
30年 9月	21,934
30年 10月	23,621
30年 11月	22,945
30年 12月	21,010
31年 1月	21,040

資料:石川県企画開発

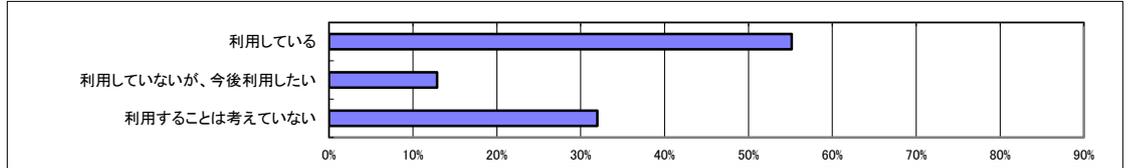
【中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応について】 **特別調査**

問1. 事業上パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。また電子メールを利用していますか。

＜インターネット利用＞

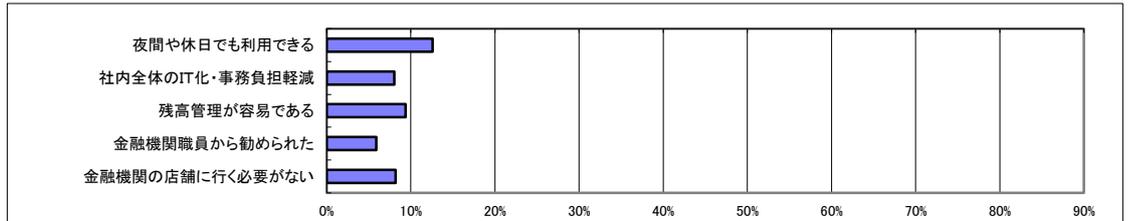


＜電子メール利用＞

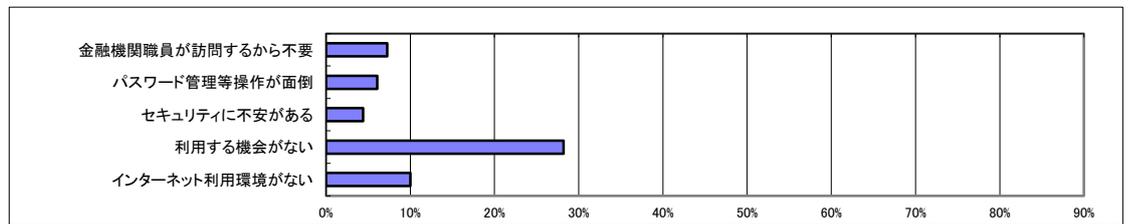


問2. インターネットバンキングを利用していますか。

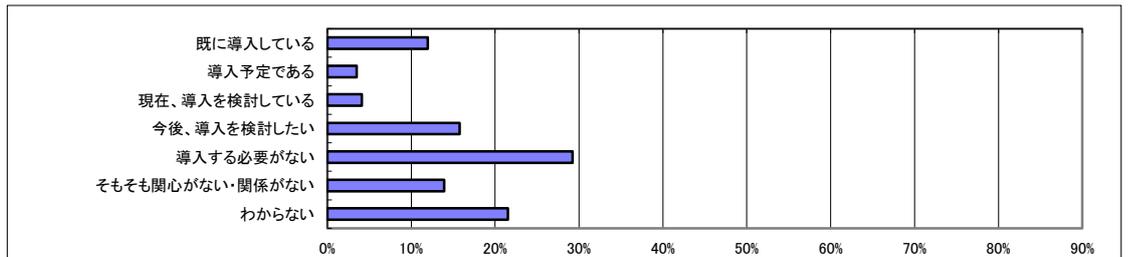
＜利用している理由＞



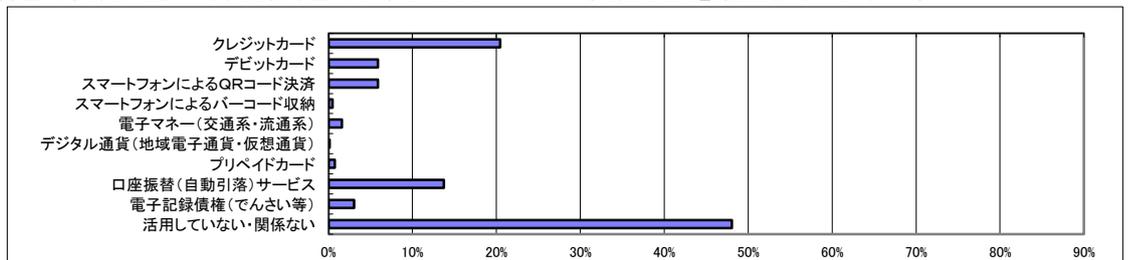
＜利用していない理由＞



問3. キャッシュレスについてどのような対応を考えていますか。



問4. 取引先や顧客との決済において、現在、どのようなキャッシュレス決済手段を活用していますか。



問5. 今後ともさらに活用していきたい、もしくは今後活用したいと考えているキャッシュレス決済手段はありますか。

